



企業活動と自然との調和を目指します。

環境基本方針

日東電工では、1996年に「環境基本方針」を制定しました。これに基づき、資源生産性と企業成長が両立する環境経営を目指して活動を推進しています。

理念

私達の住むかけがえのない地球を守り、次世代に引き継いでいくために、地球環境の保全は人類共通の最重要課題であることの認識のもとに、日東電工グループは「新しい価値の創造」を通じ、企業活動のあらゆる面で地域から地球規模までの環境に配慮し、行動する。

環境基本方針

1. 環境マネジメントシステムを整備し、効果的な環境保全活動を実現する。
2. 企業活動による環境影響を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、計画的な取り組みをし、環境保全活動の継続的改善を図る。
3. 環境負荷の低減を指向した製品開発、技術開発を行う。
4. 省資源、省エネルギー、産業廃棄物の削減、リサイクルの推進に企業活動のあらゆる面で取り組む。
5. 環境に負荷を与える物質については可能な限り、代替技術の開発による削減及び排出の抑制を図り、環境負荷の低減に努める。
6. 環境に関する法律、規制、協定などを遵守するとともに、必要に応じ自主基準を設定し、環境保全に努める。
7. 環境に関する教育、広報活動に努め、全従業員に「環境基本方針」の理解と意識の向上を図り、実践に結びつける。
8. 環境監査を定期的実施し、環境管理レベルの維持、向上に努める。
9. 環境に有益な技術、情報は必要に応じ公開し、社会に貢献する。